

2021
OC & 学校案内ガイド
スペシャルインタビュー
2
女子美術大学



～AO入試(※)から総合型選抜へ～

美大におけるAO入試(※)の開拓に
成功した女子美術大学。
総合型選抜にも引き継がれる
女子美の魅力とその教育とは



※本インタビューは2020年2月に行われたものであり「AO入試」は現在「総合型選抜試験」として実施されています。



小倉 文子 氏

女子美術大学
学長

トリン美術予備校

学長 瀬尾 治

学長補佐 佐々木庸浩

—まず本題に入る前に、女子美術大学の魅力を受験生や保護者の方に向けてお願います。

「女性ならではの芸術的感性を最大限に活かした人材を育成する、オンラインワンの美術大学」という一言に女子美の魅力は集約されているかと思えます。創作に打ち込める施設設備。学生一人ひとりの個性を伸ばすためにきめ細やかに指導を行う教員。多種多様な個性が「協働・共感」しながら学科、専攻、領域を超えて学べるプロジェクト活動。その学びを活かして卒業後にクリエイティブな業界で活躍している多くの女子美の卒業生。1・2年次の学科、専攻、領域を超えた授業から始まる交流が、就職先やアート活動、やがてはパリ、ミラノ、ベルリン、ロンドンなど海外にも広がっていく。120年変わらない女子美の基本姿勢は共働・共感から作られるネットワークにあると思います。

受験生、保護者の皆さんには、その女子美の魅力・校風を女子美祭・卒業制作展・オープンキャンパスの機会で、直接見て感じていただければと思います。

—歴史・伝統のある女子美術大学ですが、AO入試(※)を導入されたのは今から10年以上前だったと思います。当初、美大がAO入試(※)を行うことに對して懐疑的な意見が多かったと思いますが、女子美術大学が見てきたAO入試(※)とは？

女子美がAO入試(※)という入試制度を導入して、短大は18年、大学は13年が経ちました。導入当初は受験生側にも戸惑いがあるようでしたが、現在では全国の多くの大学で実施しており、美大を目指す受験生や高校教員・予備校関係者にも定着しているように感じます。



学生一人ひとりを伸ばす女子美術の教育はAO入試との相性がとても良い

写真左より：小倉文字学長、佐々木庸浩、瀬尾治

専門試験（実技）と学力試験の得点で可否を決める一般入試の選抜方法と異なり、女子美術のAO入試（※）では、体験プログラム（体験授業や面談）を通して、女子美術に対する理解を深めてもらい、多角的な視点で「多種多様な個性・成長の可能性」を見えています。また、早期に入学が決まるための期間を有意義に過ごしてもらっています。大学関係者の中では『AO入試（※）は「育成型入試」、一般入試は「選抜型」といわれることがあ

ではないでしょうか。

女子美術は、首都圏美大の中で「早くAO入試（※）を導入することで、それまで一般入試では難しかった「多種多様な個性・成長の可能性」を持った高校生の受け入れを行ってきました。そして入学後、女子美術の特長である「学生一人ひとりの個性を伸ばす、きめ細やかな指導」によって大きく成長し、卒業後はクリエイターとして活躍されている方が多くいます。女子美術の教育の特長やリメディアル教育（入学前教育）についてはのちほど触れますが、「育成型入試」と呼ばれるAO入試（※）と女子美術の教育内容の相性はとても良く、卒業後の進路（就職実績の高さ）にもつながっていると感じています。

2021年度からは「総合型選抜」として、これまで培ったAO入試（※）でのノウハウを生かし、引き続き優秀な学生を育ててゆきたいと思っています。

— 今後、推薦入試はどう変わっていきますか？
 言える範囲で結構です。どのように変わるのでしょうか？

文部科学省の高大接続改革を踏まえた「大学入学者選抜実施要項見直し」を念頭に置いて、本学でも入試制度の検討を行っています。女子美術の入学選抜では、これまでも美術大学として、多面的・総合的な評価を重視し、教科・科目の得点や評定の数字のみに拠ることなく「学力の3要素」である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価すべく、推薦入試においても専門試験や面接などを実施して来ました。従って、2021年度以降も選抜方法についての大幅な変更は予定しておりません。

— 女子美術大学はAO入試（※）で多くの生徒さんの募集に成功している大学と言えます。メディア表現領域の倍率の高さが目立ちますが、AO入試（※）による募集成功の秘訣は？

まず、メディア表現領域ですが、社会のニーズが高まり、身近になっていくからではないでしょうか。今の高校生は一般的に「デジタルネイティブ世代」と呼ばれ、小さい頃からWEB・スマホ・ゲーム・アプリのデジタル表現に多く触れる中で、「既存の表現に捉われない新しいデザインやアートを学びたい」という人や、「物語性のあるゲーム・キャラクターデザイン・アニメーションを学びたい」と考える高校生が年々増えていると感じます。AO入試（※）ではそのような高校生が得意とする部分を、体験プログラム（実技体験や作品持参の面談）でアピールできま



入学後もプレゼンテーションを行う機会が多く、自分の考えを自分の言葉で発信できる力を日々磨いている



企業や地域とのプロジェクト活動を通して、大きく成長する学生も多い

す。「学びたい」という強い意志を評価することで、より意識の高い受験生が集まってきているように思います。強い意志を持つ受験生が集まる事で、他の専攻、領域共にAO入試(※)で受験する生徒さんを是非受け入れたいという意見が増えてきました。

AO入試(※)で評価する力として学びたいという意欲ですが、その力が大学に入ってから大切になり、成長する学生が多いという事です。つまり、「育成型入試」で受け入れ、大学で大きく育て、卒業後に活躍するという「良いサイクル」が女子美のAO入試(※)の人気の秘

——倍率が上がるということは受験生にとっては大変かもしれませんが、美術の発展には大切なことだと感じます。AO入試(※)を受ける受験生に準備しておいてもらいたいことはありますか？

二〇二一年度からは「総合型選抜」として実施することになりますが、「自身をプレゼンテーション」する力を付けてほしいと思います。また、社会で活躍してゆくためには、他者とのコミュニケーションも重要な要素です。協働共感する力を磨いてもらいたいです。デッサンなどの実技力は、練習によって高められるので、大いに勉強してほしいですが、希望している分野が想像している通りなのか、オープンキャンパスなどで早めに確認することも大切です。高校までの授業と大学での授業では、授業形態も大きく違います。そうした事を確認するためにも、希望する専攻・領域の教員と面談

をするとよいと思います。

——感性を育てる教育とはどのようなものでしょうか

女子美の特徴として、「教員と学生」・「学生同士」の距離が近いことが挙げられます。女子美は1学年600人程度で、各教員の指導が十分に行き届く体制をとっています。また、学科、専攻、領域を横断した授業・交流も活発です。フライングアートを学ぶ学生とデザインを学ぶ学生が、お互いの強みを認め合い、時には刺激し合いながら、普段の学生生活を過ごしています。そうした環境そのものが、感性を伸ばせる大きな要因になっています。また、10代後半から20代前半の、一番多感で美術的感性が伸びる時期に、「男子学生の視線に囚われず、自らの感じたままを表現できる環境」は、他大にはない女子美の特徴です。女子美の感性を育てる教育について、文章ではお伝えしきれない部分も多いのですが、1つのデータとして、女子美は毎年首都圏の美大の中でトップクラスの就職実績を挙げており、企業や社会からは評価頂けていると感じています。

——推薦入試で早期合格者に臨むこと

トーリンさんよりもリアル教育(入学前教育)には積極的に取り組んでおられますが、入学前の時期はとても大切な時期だと思います。推薦など早期に入学が決まる入試の合格者の多くは現役生なので、学ぶ事への意欲は高くても、練習の時間が不足するためデッサン力に少し不安を持つ方もいます。こうした入試では、各専攻・領域から入学前課題が出されるときにも、入学前デッサン講座を実施しています。入学前に課題に取り組む、デッサンの基礎力を習得することで入学後の学生生活をスムーズに過ごせるだけでなく、卒業後、将来クリエイターとして仕事をするときの基礎にもなります。早い時期に合格が決まった方は、入学前に準備できる時間が多くあるので「受験のためのデッサン力」ではなく、「美大生のための基礎力」という意識で、積極的に課題に取り組んでほしいと思います。



女子美の「今」を伝えるWebサイト
<https://www.joshibi.ac.jp/>



女子美術大学 女子美術大学短期大学部

JOSHIBI UNIVERSITY OF ART AND DESIGN / JOSHIBI COLLEGE OF ART AND DESIGN

<https://www.joshibi.ac.jp>

女子美術大学 芸術学部

相模原キャンパス

- 美術学科
- 洋画専攻
- 日本画専攻
- 立体アート専攻
- 美術教育専攻
- 芸術文化専攻

■ デザイン・工芸学科

- ヴィジュアルデザイン専攻
- プロダクトデザイン専攻
- 環境デザイン専攻
- 工芸専攻

杉並キャンパス

■ アート・デザイン表現学科

- メディア表現領域
- ヒーリング表現領域
- ファッションテキスタイル表現領域
- アートプロデュース表現領域

女子美術大学短期大学部

杉並キャンパス

- 造形学科
- 美術コース
- デザインコース
- 専攻科

女子美術大学大学院 美術研究科 (男女共学)

相模原キャンパス/杉並キャンパス

- 博士前期課程
- 博士後期課程

女子美術大学付属高等学校・中学校

杉並キャンパス

杉並キャンパス 東京都杉並区和田 1-49-8 (女子美ガレリアアネク/歴史資料展示室)
 相模原キャンパス 神奈川県相模原市南区麻溝台 1900 (女子美アートミュージアム)
 お問い合わせ先 女子美入試センター TEL 042-778-6123